

開催日:6/2(土)・3(日)

会場:島根県 松江市 労働会館4階大会議室

交流会会場:松江エクセルホテル東急

宿泊:会場周辺で手配しています。当日ご案内します

参加費: 無料

内容: 1 日目 14:00~18:00

・学習講演

藤原和成 医師 大曲診療所

中谷昭二 氏 出雲市民病院 医療ソーシャルワーカー(MSW)

・症例検討ワークショップ

鈴木健太郎 医師 松江生協病院

・グループディスカッション

・19:00~交流会

2 日目 9:00~13:00

・講演 佐藤龍平 医師 高松平和病院

・活動報告

「病院から始まるまちづくり研究」SHIPS(島根大学学生)

をはじめ、学生から活動報告が3演題

・グループディスカッション

会場周辺 MAP

松江駅北口徒歩 5分

専用駐車場はご利用できませんので公共交通機関でお越しください





民医連 中四国医療系学生のつどいとは？

年に一度、中四国の医療系学生と医師等がつどい、学び、交流する企画です。

医療の役割を、様々な社会課題等を通じて考え、各々の医療観を構築することを目的としています。

今年は「患者の背景」に焦点を当て、患者さんの抱えている悩みや、不健康を作り出す要因について学びます。

みんなで語り・交流しましょう！

民医連

中四国医療系学生のつどい 2018

in 島根

テーマ：患者の背景をみる ～case01 貧困～

日時：6月2日(土)・3日(日)

会場：島根県 松江市 労働会館4階大会議室

<現地実行委員からメッセージ>

医療とは何のためにあるのでしょうか。

私は医療とは「その人らしく暮らすことを支える手段の一つ」ではないかと考えています。

大学では疾患について主に学びますが、患者が抱える疾患は様々な要因の結果とも言えます。「夜眠れない」患者に対し、「眠剤を処方するだけ」の医療は対処療法に過ぎないのではないのでしょうか。

その人本当に「お大事に」で帰していいですか？「患者の背景」にまで皆で関わりませんか。

また、「病院の中にとどまらず地域に出て地域の方と共に社会問題に取り組んで来た民医連」の活動を知り、交流会やテーマごとのディスカッションを通じ、医療系学生のつながりを作りながら一緒に学んでいきたいと思えます。

新入生の皆様のご参加を楽しみにしてお待ちしております。どしどしご応募ください！

実行委員長 堀西祐多(島根大学5年)

<お問い合わせ/お申込み> ※申込み締め切り 5月15日(火)

【学校名・学科】 【氏名(ふりがな)】 【学年】 【電話番号】 【宿泊希望有無】
を明記の上、下記メールアドレスまでご連絡下さい。

E-mail : igakutai117@gmail.com TEL : 0853-21-3360

島根民医連 担当：岩成



QRコードからも申込みできます！

主催：全日本民医連 中四国地方協議会